

令和6年12月24日

2学期 終業式 式辞

2024年、令和6年、辰年も残すところ1週間となりましたが、皆さんにとって、今学期、この年は、いかがだったでしょうか。

- ・今年の3月に本校の入試に合格して、希望を胸に高校生活を歩み出した1年生。
- ・4月から後輩もできて、専門学習・部活動も、基礎から応用、または中堅としての役どころを発揮し始めた2年生。
- ・最上級生としてリーダー性を発揮しつつ、進路実現に向けて3年間取り組んだ結果、就職進学の進路先を決定し、次のステップへと心を新たにしている3年生。

私からは、皆さんに、1学期始業式で「人の想いを大切にできる隼工生」について、2学期始業式の式辞では、「時間を大切にできる隼工生」であって欲しいと、例を挙げながら話しをしてきました。

自分の時間を心身の成長のために有効活用しつつ、他人の時間も奪うことなく、先生方・親族を含む他人が、自分に使ってくれた時間や行動をありがたく思い、また、保護者の時間と情熱、労力の結晶でもあるお金に対しても、感謝をもって過ごすことができたでしょうか。

2学期は、限られた時間の中で、資格・検定への挑戦、部活動の大会や発表会、文化祭や体育祭など、個人の力を最大限に発揮して、また皆の知恵と力を一つにして、一生懸命に汗を流したこともあったでしょう。

もちろん、その過程において、楽しいことばかりがあったとは思いません。むしろ大変な事の方が、多かったのではないのでしょうか。

目標に向かって、「いかにして力を出し切り、達成することができるようになるか。」という**取組こそが**、皆さんにとっては、とても良い経験になったことと思います。

皆さんも知ってのとおり本校では、ものづくりを通して、「利用する人が、いかに安全安心で使いやすい、便利な品物を製作するか」にあたって、アイデアを出し、具現化する技術の基本を学ぶと同時に、創り手の想いも理解できる「ものづくり教育」を行う学校で、ひとづくり、人格形成を行う学校です。

AI技術が盛んになる中、人から言われたことだけができる「ロボットのような人物」となるような教育をしているわけではありません。一つの事柄に対して、自らが考え、自らが行動し、結果・分析から、次の目標へと移動していける人物の育成です。

話しは変わりますが、皆さんも自転車には乗ったことが多いと思います。最初の頃は補助輪をつけて、前にこぎ出すペダルや、止まるためのブレーキ、方向を定めるハンドルを操作しますが、慣れてきたら補助輪を外して、転倒しながらもコツを掴んで上達し、やがて近場から遠くまで、景色を見ながら思いのまま自由に操作して自転車を楽しんだことと思います。

私は、人生の楽しさも、この自転車乗りに似ていると思います。

自分で状況判断し、行動するからこそ、自分の人生、自分が主役となって楽しめるのです。他人に操作される人生は、「自分の人生を生きている」とは言えないのではないのでしょうか。

これらのことから分かるように、今、皆さんは、「人生を楽しむため」に、学校生活の中で、操作技術の基礎、社会の基本を学び、技術やコミュニケーションスキルを習得し、前へ踏み出す行動力を身に付ける機会を得ているのです。

AI技術が盛んになる中、皆さんがChatGPTなどを利用するにしても、知りたいことや、思い通りの答え、結果を導き出すには、AIに思惑の伝わる語彙を選び、コマンドを入力する必要があることを知っているかと思いますが、私は、皆さんにそんなAI技術が盛んとなる社会に巣立つ前に、少しでも語彙力や基礎力を在学中に高め、自分の思い通りの結果が得られる力をつけて、卒業していってくださることを願っています。

そのためにも、二度と来ないこの2学期節目の今日この時この時間を、大切に考え、今までの自分と、新しい年を迎える自分の理想像との「ギャップ」に対して、この冬期休業中の年末までに何から改善すべきかを考えて、新年を迎え、心新たに行動し、皆さんにとって令和7年が、更なる飛躍の年となることを期待して、2学期終業式の式辞といたします。